



### 「撮取して捨てざれば」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます  
すぐ清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存  
じます。

私たちがご本尊といただく阿弥陀如来は、  
あらゆる生きとし生けるものすべてを救い  
取るとの仰せです。しかし、この地球上には  
人間だけで71億人！もいて、毎日20万人ずつ  
増えています。あらゆる宗教の方もいます。  
すべてを救うとはあまりに荒唐無稽で、とて  
も信じられないと思うのは、現代の科学教育  
を受けてきた身にはあまりに当然ではない  
でしょうか。しかし、阿弥陀如来はわたした  
ちのそんな浅はかなはからい（分別）などを  
遙かに超えた（不可思議の）如来様です。時  
間も空間も超えて、いつでもどこでもどんな  
ときにも、若くても年老いても病気で  
あつても、今の私を精一杯輝かせてくださる  
仏様です。たとえばこの私というちつぽけ  
な人間一人をとつても、この身はなんと60兆  
個という膨大な数の細胞できています。

そしてその細胞を生かすためには、酸素と栄  
養分の供給が欠かせません。そのためにな  
んと一人当たり延べ10万kmという長さの血  
管が張り巡らされています。それでも血管  
が届かない細胞には、血漿という血液の液体  
成分に溶けて、血管から染み出して届けてい  
るのです。あらゆる細胞をすべて生かすた  
めに、この私の小さな体でさえ、廣大無辺な  
働きが日々繰り広げられているのです。そ  
のことを考えたとき、『十方微塵世界の念  
仏の衆生をみそなわし 撮取して捨てざれ  
ば 阿弥陀となづけたてまつる』と親鸞さま  
がお讃えくださった、阿弥陀さまの「まかせ  
よ 必ず救う」とのお誓いが、決して荒唐無  
稽な絵空事ではなかったと味わえる気がす  
るのです。このご和讃の原本には「撮はおさ  
めとる」「取はむかえとる」「ひとたびとりて  
永くすてぬなり」「ものの逃ぐるをおわえと  
るなり」と親鸞さまがたくさんの左訓（注釈）  
を書いてくださっています。それだけ阿弥  
陀さまの「必ず救う」とのお誓いをご自身が  
喜ばれて、皆にも気づいてくれよと呼びかけ  
てくださいているような気がします。

私たちはいずれそう遠くない将来、この娑  
婆のいのちを終えていきますが、必ずまたひ  
とつところに往き生まれていくというご縁  
をいただいています。安心してこのすつた  
もんだの人生を一日一日大切に大切に歩ま

せていただきました。

### 「彼岸会が厳修されました」

私（若院）が、先月の後半に若狭のお寺に  
出かけていたため例年よりも遅くなつてし  
まいましたが、おかげさまでなんとか天候も  
荒れることなく、富山県高岡市教願寺若院の  
岡西好持先生をお招きして、春の彼岸会なら  
びに本納骨法要が先月31日に厳修されまし  
た。今回は春江の銚子一行をはじめ、遠近  
各地より、子供さんも含めたくさんのお参り  
どうも有り難うございました。ご講師の岡  
西先生も皆様の熱心なお聴聞の姿勢に感激  
しておられました。



岡西先生のご法話を聴聞するみなさん

## 「決算・予算承認される」

今日11日に西光寺護持会の役員の皆様は平成24年度決算・25年度予算をご提示し、ともに承認されましたのでご報告いたします。今後とも、西光寺の護持発展のためにお力添えを賜りますようお願いいたします。昨年は庫裏の壁、今年は庫裏の床と雨漏りの修理など、皆様のご協力なくしては護持もままなりません。お寺はご門徒様みんなのものです。みなさんがお念仏を聞いて喜び、生きる力を与えられる間法の道場であるお寺をお互いに護つてまいりましょう。

## 「蓮如上人御忌法要開催！」

今日23日(月)～5月2日(水)まで、吉崎別院にて蓮如上人のご命日をご縁とした御忌法要が勤まります。住職と若院も出勤いたします(若院は25日と26日のお日中(午前10時より)の法座に出講いたします)。出勤の日と重なればお乗せしていくことも可能です。お参りしたい方は寺までお問い合わせください。

## 「花まつりが厳修されました」

去る4月7日に、恒例の三国町仏教会の花まつりが圓乗寺様にて開催されました。今年には爆弾低気圧の襲来で、「不要不急の外出は避けるように」……などという報道がなさ

れ、風雨のために白象のパレードもできませんでした。子供大会には箴谷公則さんの娘さんお孫さんはじめ、たくさんの子供たちがお参りくださり、お釈迦様に甘茶をかけてお祝いしていただきました。午後の式典・記念講演にもたくさんのお参りで、役員一同ほつとしたところです。また、多くの皆様から花まつりの奉賛懇志を頂戴しました。これからの仏教会の活動に大切に使用させていただきます。有り難うございました。



子供大会恒例の専了寺様による紙芝居の風景

## 「ごんには、母さん」公演

チラシを同封させていただきましたが、6月に、若院が所属しております『福井青年劇場』の公演があります。早いものでお芝居をやらせていただくようになって15年が経ちました。毎回、「これで最後の公演になるかも」という気持ちで臨んでいます。来てくださる方はご一報ください。チケットをお持ちいたします。ただ、今回のお芝居は非常に長く、多分3時間くらいかかります。私のセリフも膨大で、覚えるのにたいへん苦労しています。途中に休憩もあります(主役が和服から着替えるためと観客のトイレ休憩のため)。それでも観てやろうと言ってください。方、どうぞよろしく願います。

※チラシに一部ミスがあります。日曜日の公演は午後2時からです。すみません。

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要なことは必ず携帯にお電話下さい。出られなければ留守電に入れてください。こちらからご連絡いたします。

住職 内嶋洪淳(うちじま こうじゅん)

090-8261-3090

若院 内嶋淳浩(うちじま あつひろ)

090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com